



県民すべてがかかわる 地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」

「トライやる・ウィーク」とは…

◆これまでの経緯

- *平成10年度にスタート
- *阪神・淡路大震災及び須磨区の児童殺傷事件以降、「心の教育」の充実を図るため実施
- *「トライ」の意味には、「挑戦する」と「学校・家庭・地域のトライアングル」が含まれている
- *全国的にも希少な1週間の社会体験活動を展開

◆トライやる・ウィークの目的

*地域や自然の中で生徒の主体性を尊重した体験活動を通して、豊かな感性や創造性などを自ら高めたり、豊かな自分なりの生き方を見つけたりすることができるよう支援するなど「生きる力」の育成を図る

◆充実を図るために…

- *学校、家庭、地域の三者が連携する体制づくり
- *受入先確保に向けたコーディネーターの設置・活用
- *事業所バンク等の設置・活用
- *意義等を知らせるチラシ等による理解促進
- *校区推進委員会・市町推進協議会の充実
- *報告書等の精選等による業務の負担軽減



「トライやる・ウィーク」HP



農林水産体験活動

開かれた学校づくり

学校



文化・芸術創作体験活動



学校・家庭・地域へのお願い

子ども達に「身に付けさせたい力」を三者で共有し、ご協力をお願いします

学校

- ◎子ども達の実態等を踏まえ、子ども達の主体性に基づいた体験活動を設定
- ◎子ども達が成長できるよう、目的を明確にした事前・事後指導の充実
- ◎将来の生き方・働き方等を考えさせ、キャリア発達につながる取組を展開
- ◎家庭・地域との連携強化

家庭

- ◎働くことや職業等について、子どもと十分なコミュニケーションの機会をもつ
- ◎活動を通じた子どもの成長を捉え、認めるなど子どもへの理解を深める
- ◎活動期間中は普段と異なる生活になるため、子どもの体調管理に留意する

地域

- ◎地域の教育力を生かし、子ども達の成長を支援する活動内容を工夫する
- ◎子ども達の受入先の確保に向け、事業の趣旨などを理解・協力する
- ◎子ども達が安心・安全に活動でき、個人情報の取り扱いにも配慮する



ボランティア・福祉体験活動

家庭教育の充実

家庭

生徒の成長

「自尊感情の高揚」「社会的自立の基礎づくり」「社会活動への参画意識の形成」

生きる力の育成

県民の参画と協働

地域



職場体験活動



地域・事業所向け協力募集チラシ

子ども達に聞きました

*「トライやる・ウィーク」を終えて感じていることは？



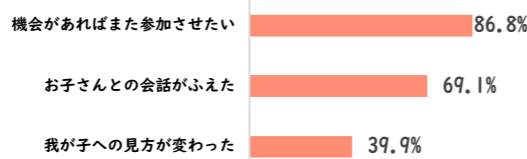
子ども達は、活動を通して、「職業観・勤労観の深まり」「人間関係の深まり」「生活環境への肯定的認識の高まり」など、たくさんの自分の成長を実感しています。



「令和5年度地域に学ぶ『トライやる・ウィーク』アンケート調査結果」から

保護者に聞きました

*「トライやる・ウィーク」について感じることは？

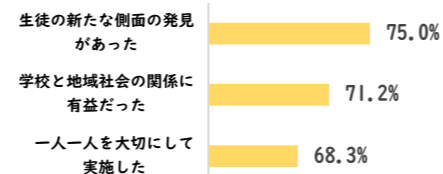


保護者の多くは、「トライやる・ウィーク」を貴重な体験だと考え、同時に、家庭におけるコミュニケーションの充実にもつながっていると考えています。



教職員に聞きました

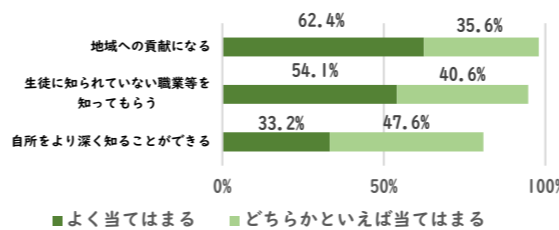
*「トライやる・ウィーク」で感じることは？



教員にとって、「トライやる・ウィーク」は、「生徒の新たな側面の発見」「生徒の変化」など、生徒の多面的な理解の機会となっています。また、「学校と地域社会の関係に有益だった」など、学校と地域の連携促進や「開かれた学校づくり」につながっていると考えています。

事業所に聞きました

*子ども達を受け入れるメリットは？

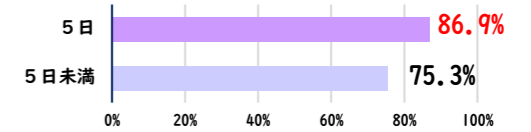


事業所にとっては、子ども達を受け入れることで「社会貢献活動の一環」「地域への理解促進」など、事業所にとってPRする機会になるとともに、「自所をより深く知る」「新たなアイデアを得る」など、社員教育や企業の社会的役割を見いだす機会にもなっていると考えています。

「令和6年度兵庫型『体験教育』魅力発信に関するアンケート結果」から

5日間連続した活動が生徒の意識や充実感を高めています

*自分にとって、「トライやる・ウィーク」の一週間は充実していた



コロナ禍の影響で地域や学校によって、事業所等でやむを得ず5日間活動できなかった生徒がいました。その生徒たちと5日間活動できた生徒との一週間の充実度は、5日間活動した生徒の割合が高くなっており、5日間、事業所等で活動することは、生徒にとって成果が大きいです。

「令和5年度地域に学ぶ『トライやる・ウィーク』アンケート調査結果」から

●兵庫型「体験教育」とは？

阪神・淡路大震災から得た教訓や、心豊かな人づくり懇話会、心の教育緊急会議からの提言等を踏まえ、命を大切に作る心や思いやりの心、規範意識を養うなど、「心の教育」の充実を図るため、県民の参画と協働により、児童生徒の発達段階に応じた体系的な体験活動を推進しています。

小学5年生

自然学校推進事業

～豊かな自然の中での4泊5日の長期宿泊体験～

友だちと協力すると難しいこともがんばれた



豊かな自然の中で、児童が様々な体験活動を通して、自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力や、生命に対する畏敬の念、感動する心、共に生きる心を育むなど「生きる力」を育成する



中学2年生

「トライやる・ウィーク」

～地域や自然の中での一週間の多様な社会体験活動～

地域や自然の中で生徒の主体性を尊重した体験活動を通して、豊かな感性や創造性などを高めたり、自分なりの生き方を見つけたりすることができるよう支援するなど「生きる力」を育成する



挑戦することや働くことの大切さがわかった



これからの社会を生きぬく力

- * 社会の変化に主体的に向き合い、よりよく課題解決する資質や能力
- * 自らの可能性を発揮し、多様な他者と協働できる力
- * 困難に負けないしなやかな心

仲間と力を合わせて課題を解決する力が求められる

夢や目標をもてない子どもが一定数いる

体験活動の機会が減少

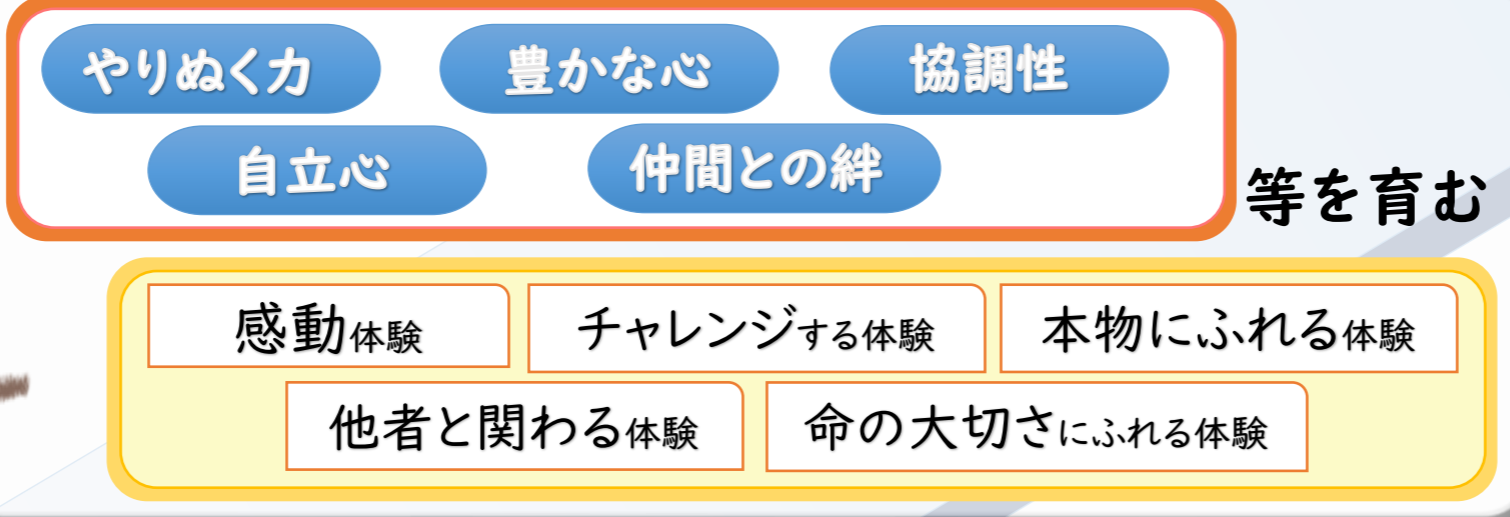
人間関係の希薄化・固定化

少子化やAI等ICT化の進展

学校・家庭・地域が一体となって成長を支える

今だからこそ兵庫型「体験教育」

その魅力とは



12年間の兵庫型「体験教育」により、「生きる力」を育てています



幼稚園・こども園

遊びを通した体験的な学び

～様々な体験が豊富に得られるような環境への主体的な関わり～



どろどろって気持ちいい！だれかに伝えたいな



小学3年生

環境体験事業

～里山、田畑、水辺などで自然とふれあう体験型環境学習～

ふるさとの自然を守っていききたい



自然に触れることによって、自然に対する畏敬の念をはじめ、命の大切さ、命のつながり、美しさに感動する心など精神的な豊かさを得るとともに「生きる力」を養う

中学1年生

わくわくオーケストラ教室

～県立芸術文化センターでのオーケストラ鑑賞～

本格的な交響楽団の演奏に親しむことや関連施設の見学を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を培い、豊かな情操を養う



生のオーケストラの演奏を聴いて感動した

特別支援学校

心のバリアフリー推進事業

～自立と社会参加に向けた交流や体験活動～



高校生との活動が楽しかった

高校生

令和7年度から実施

県立高校ふるさと共創プロジェクト

～生徒自身が考え発信しふるさとへの愛着とプライドを醸成～



ふるさとの魅力を理解・発信主体的な進路選択

地域資源を知り、見直しや活用について学びを深め、「まちづくり」や「ビジネス」の提案、地域とのつながりを創出し、地方創生に貢献する人材育成を図るとともに、生徒自身が考え発信することでふるさとへの愛着とプライドを醸成する

※「ふるさと貢献・活性化事業」と「就業体験事業」を発展的に統合

公立特別支援学校に在籍する幼児児童生徒の自立をめざし、家庭・地域社会等との連携のもと、地域との交流活動や自然体験活動、社会体験活動を支援する



幼稚園・認定こども園等

小学校

中学校

高等学校